

夏の日射しが厳しい中、子ども達は元気にプール遊びを楽しんでいます。
 プール遊びで「動」、お茶のお稽古で「静」。どちらも大切なぞうぐみさんの経験の時間ですね！！
 今月は、お運びさん（亭主）のおけいこをしました。帛紗ふくさを腰につけ、古帛紗こぶくさにお茶碗（実際にお茶が入っています）をのせて運ぶ練習をしました。初めてのことに緊張の表情を見せながら、お客様を『もてなす』という体験をしました。

8月のお菓子



- ・貝
- ・カニ

8月のお花



- ・キンシバイ

帛紗（ふくさ）



古帛紗（こぶくさ）

きんらん どんす めいぶつきれ
 金欄や緞子などの名物裂といわれる
 きれじ
 裂地で作られています。



右向こう側の角を手前に三角に折ります



三角のはしとはしを持ち上げます



“わ”になった方を前にして左の腰に付けます



菓子器は、両端をしっかりと持ちます



お菓子どうぞ



古帛紗の上にお茶碗をのせて運びます



お茶碗の絵柄をお客さんに向けます

お茶どうぞ



お友達が運んでくれたお茶をゴクゴク！！

*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。
 お茶を学ぶということは、この心を学ぶことです。

和…お互い同士が仲良くすること。分かり合えることです。

敬…好き嫌いを超えて、相手を敬うやまうう心です。

清…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄きよめることを努力することです。

寂…心の中がどしんと落ち着いて、何物にも動くじない心、いざという時に後で悔やんだり、失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。